

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月21日

計画の名称	大規模災害から市民を守る減災防災まちづくり（第2期計画）（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和03年度（4年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	湖西市											
計画の目標	湖西市は、静岡県西部の浜名湖と愛知県境に挟まれた、東西11.2km、南北12.5kmの総面積88.65km <sup>2</sup> の市です。南側には、浜名湖今切れ口から愛知県境までの遠州灘に面した10.4kmの海岸線を有し、東側には、浜名湖に面した25.1kmの湖岸を有する人口62千人の工業都市です。静岡県第4次地震被害想定に基づき、H26.3月に改定した「湖西市津波避難計画」において、津波到達予想時間内に安全な高台や津波避難施設へ避難できない津波避難施設空白域が約1.4km <sup>2</sup> 存在しています。このような状況の中、地震津波などの大規模災害から市民を守るため、「湖西市地域防災計画」及び「湖西市津波避難計画」に基づく自助・共助・公助による災害に強い減災まちづくりを進めるとともに、静岡県第4次地震被害想定により、津波の浸水が想定されている遠州灘沿岸地域の減災対策を優先的に進めようとするものです。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	270	A	270	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R3末
1	静岡県第4次地震被害想定により津波の浸水が想定されている遠州灘沿岸地域で、湖西市津波避難計画における津波避難施設空白域内の高師山地区について、津波到達時間内に避難できる一時避難施設を確保し、当該地区の津波避難可能エリアカバー率100%を目指す。 湖西市津波避難計画による津波避難施設空白域内の高師山地区において、津波到達予想時間内に避難できる一時避難施設を確保し、津波避難可能エリアカバー率100%を目指す。 一時避難施設確保による避難可能エリア面積 / 高師山地区における津波避難施設空白域面積（0.05km <sup>2</sup> ）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
・湖西市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A1全て																

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	湖西市	直接	湖西市	-	-	都市防災総合推進事業	高師山地区津波避難タワー整備 1箇所	湖西市						270	0	-	
		静岡県国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A1全て 湖西市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A1全て																		
											小計						270			
											合計						270			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 湖西市危機管理課	事後評価の実施時期 令和6年3月
	公表の方法 湖西市ウェブサイトに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	津波避難施設の整備によって、住民や観光客が津波から避難できる可能エリアを確保することができ、津波からの避難の安全性を高めることができた。また、当該地区の津波避難可能エリアカバー率100%を達成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%